担当講座	内科学講座 腎・高血圧内科分野	問合せ先	腎・高血圧内科分野										
分野責任者	旭 浩一 教授												
担当教員	旭 浩一 教授 田中 文隆 准教授 吉川 和寛 講師												
人材育成の 基本理念	腎臓学、腎臓病学、内科学、高血圧、腎代替療法に関する幅広い学識と研究意欲に富み、腎臓・高血圧性疾患、腎不全の病態解明、高度診療及び予防に資する研究ができる優れた臨床医を育成する。												
主な研究内容	腎臓・高血圧性疾患および腎不全の病態と治療、診療実践及び予防に関する基礎的・疫学的・臨床的研究を行う。												
	教育成果			該当するディプロマポリシー									
教育成果 (アウトカム)	腎臓・高血圧性疾患および腎不全の診断、病態の把握、治療法の選択などの診療を実践することで、内科および各種専門医としてふさわしい知識、技術、科学的思考法の修得に到達する。さらに研究によって腎臓・高血圧性疾患および腎不全の病態機序や発症進展要因を明らかにすることで、医療水準向上に貢献する新たなエビデンスの創出に到達する。												
	達成目標		対象科目										
	(1)生命科学や、医学研究のための基本的な知識を活用できる	ベーシックセミナー											
	(2)適切な研究デザイン、解析法を立案し実施できる。	研究方法論、生命科学解析手法概論											
	(3)得られた研究結果を正しく解釈できる。	特別研究 I II III											
	(4)解析結果ををまとめ、発表できる(英文が望ましい)	特別研究 I II III											
	(5)病因の解明や治療法の発展に寄与できる。	特別研究 I II III											
	(6) 次世代の人材育成に貢献できる。		特別研究 I II III、大学院セミナー										
達成目標	(7)病態を全身的・臓器横断的に正しく理解し説明することができる。		腎臓・高血圧内科学セミナー1,3、腎臓高	5血圧内科学演習1,2,3,4,5									
	(8)最新のエビデンスを適切に解釈し、科学的根拠に基づく診断治療の戦略を構築し とができる。	説明するこ	腎臓・高血圧内科学セミナー1,3,4、腎臓	高血圧内科学演習1,2,3,4,5									
	(9)過去の知見や住民・患者の観察の結果から、新しい仮説や課題を抽出することが	できる。	腎臓・高血圧内科学セミナー2,4、腎臓高	血圧内科学演習3									
	(10)最新の研究成果を渉猟し説明することができる。		腎臓・高血圧内科学セミナー2,4、腎臓高	血圧内科学演習3									
	(11)患者背景に配慮した全人的視点からの診療を実践することができる。 腎臓高血圧内科学演習6												
	(12)診療に関わる多職種や自らの医療現場や地域社会での役割を理解し、協調して診療や研究を 実践することができる。 腎臓・高血圧内科学セミナー5、腎臓高血圧内科学演習6												
資格取得等	日本内科学会総合内科専門医、日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医の取得に必要な学識と臨床経験を修得できる。												
履修に関する 情報	社会人大学院生や急患対応など、授業に出席できない場合、日程を調整する。入学時より前半の2年間の間に共通教育科目の必修科目「研究方法論(2単位)」に加えて、選択必修科目を履修することが望ましい。												

## ●在学中に履修できるカリキュラム

[2	区分	配当年次		科目名	開講	コマ数	単位	修了までに 必要な単位	備考
				腎臓・高血圧内科学演習1	通年	30	4		
				腎臓・高血圧内科学演習2	通年	15	2		
			Ade sist	腎臓・高血圧内科学演習3	通年	15	2		
	必修		演習	腎臓・高血圧内科学演習4	通年	15	2		
研	/			腎臓・高血圧内科学演習5	通年	15	2		
究特	選	1~4年		腎臓・高血圧内科学演習6	通年	15	2	20単位	※20単位以上の取得可
論	択			腎臓・高血圧内科学セミナー1	通年	8	1		
	必修		講義	腎臓・高血圧内科学セミナー2	通年	8	1		
	P			腎臓・高血圧内科学セミナー3	通年	8	1		
				腎臓・高血圧内科学セミナー4	通年	15	2		
				腎臓・高血圧内科学セミナー5	通年	8	1		
特		2年		特別研究 I (初期審査)	通年	8	1		
別研	必修	3年		特別研究Ⅱ (中間審査)	通年	8	1	4単位	※2021年度以降入学者
究	122	4年		特別研究Ⅲ (論文作成)	通年	15	2	1	対象科目

●各科目の授業計画 腎臓・高血圧内科学

<b>U</b> =	日本 日																
コード		MD141410	10			MD141410	120			MD141410	30		MD14141040				
科目	腎臓・高血圧内科学演習1 腎臓・高血圧内科学演					科学演習	₹2	腎臓・高血圧内科学演習3					腎臓・高血圧内科学演習4				
科目責任者		旭浩一			旭浩一 旭浩一								旭浩一				
担当者	者    旭浩一、田中文隆					旭浩一、吉川	和寛			旭浩一 田中文隆、吉川	和寛			旭浩一 田中文隆、吉			
場所	l§f	村属病院カンファラ	ンスルー』	4	ß	付属病院カンファラ	ンスルー』	4	β	付属病院カンファラ	ンスルー』	7	附加	属病院、内丸メディ	イカルセンタ	-	
区分等	区分	演習	単位	4	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2	区分	演習	単位	2	
区万守	回数	通年30コマ	配当年次	1~4	回数	通年15コマ	配当年次	1~4	回数	通年15コマ	配当年次	1~4	回数	通年15コマ	配当年次	1~4	
主な 授業内容	難治性腎	疾患の病態解析			腎代替療	法:導入から維持管	管理まで		腎病理組	織診断			水電解質	· 酸塩基平衡異常	の病態解析		
教育成果	ア 見などの情報収集、2) 病態の評価、3) 診 ウ 断・治療計画の立案を実践するとともに、症 例の呈示と議論に参加することにより、難治 カ 性腎疾患の病態解析と治療法選択のための思				腎代替療法導入、2) 導入期管理、3) 合併症 管理、4) 慢性維持透析管理、5) バスキュ				腎病理組 態学的ア	入院症例の腎生検標本の観察を基盤に、自ら 腎病理組織診断の示説を行うことにより、形 態学的アプローチによる病態解析と臨床的情 報を踏まえた総合的な病態解釈ができる。				外来コンサルテーション症例を基盤に1)病 歴・臨床所見などの情報収集、2)病態の評 価、3)診断・治療計画の立案を行い、返答と 経過のフォローアップを行うことにより、水 電解質・酸塩基平衡異常に対する的確な方針 提案ができる。			
S	分野の達	成目標			分野の達	成目標			分野の達成目標				分野の達成目標				
B 標達O	(7) (8	)			(7) (8	3)			(7) (8) (9) (10)				(7) (8)				
特記事項	【2021年 「受講票	度以降の入学者】	全講義後終己載が不十	終了後は速 ·分な場合	をかに「 は、担当		彗」をWeb			- ドすること。 でに再提出すること	o						
評価方法	一十一十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十									ABC (60)	点以						
講義日程	時間割参	照			時間割参	· III			時間割参	照			時間割参	·照			
教科書参考書																	

コード	MD14141050	MD14141060	
科目	腎臓・高血圧内科学演習5	腎臓・高血圧内科学演習6	
科目責任者	田中文隆	吉川和寛	
担当者	田中文隆	吉川和寛	
場所	附属病院、内丸メディカルセンター	附属病院カンファランスルーム	
区分等	区分     演習     単位     2       回数     通年15コマ     配当年次     1~4	区分     演習     単位     2       回数     通年15コマ     配当年次     1~4	
主な 授業内容	高血圧性疾患の系統的診断と治療	多職種診療連携	
教育成果	高血圧症例を基盤に1)腎画像診断、2)内分泌 学的試験の理論と技術を学び、高血圧性疾患 の系統的な鑑別、病態に応じた適切な治療選 択ができる。	人院症例を基盤とした多職種の症例検討に参加 し、各職種との議論をを行うとともに、チーム医 療のリーダーとしての全人的医療の実践に必要な 知識やコミュニケーションの手法を学ぶことで、 円滑な多職種連携ができる。	
S 目 到	分野の達成目標	分野の達成目標	
B標達	I (7) (8)	(11) (12)	
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要 【2021年度以降の入学者】全講義後終了後は遠 アップロードすること。「受講票・履修報告書 トをつけて返却するので、期日までに再提出す 【2020年度までの入学者】講義の出欠は履修手	をかに「受講票・履修報告書」をWeb Classに 」の記載が不十分な場合は、担当教員がコメン ること。	
評価 方法	【2021年度以降の入学者】「受講票・履修報告 ABCD(A:100~80点、B:79~70点、C:69~60 点以上)を合格とする(60点未満は再提出)。 【2020年度までの入学者】出席、レポートなと	点、D:59~0点)の4段階評価とし、ABC(60	
講義日程	時間割参照	時間割参照	
教科書 参考書			

コード		MD141410	)70			MD141410	80			MD141410	90		MD14141100			
科目	腎臓	・高血圧内科	学セミナ	1	腎臓	・高血圧内科	学セミナ	2	腎臓・高血圧内科学セミナー3				腎臓・高血圧内科学セミナー4			
科目責任者		旭浩一 旭浩一						旭浩一				旭浩一				
担当者	旭浩一、吉川和寛 旭浩					旭浩一、田中	文隆			田中文隆				旭浩一 田中文隆、吉月	川和寛	
場所		腎・高血圧内科	教授室			腎・高血圧内科	教授室			腎・高血圧内科	4医局		β	付属病院カンファラ	ンスルー』	7
区分等	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	1	区分	講義	単位	2
1237 (1	回数	通年8コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	1~4	回数	通年8コマ	配当年次	1~4	回数	通年15コマ	配当年次	1~4
主な 授業内容	体液恒常	性維持機構の生理	と病態		慢性腎臓	病の臨床疫学			高血圧・	心腎連関の病態生理	E		腎臓学の	潮流(論文抄読)		
教育成果	サウ 理学とその破綻による病態、尿毒症・腎不全長期合併 者集団におけ 症の生理学・生化学と分子病態、治療(新規薬物療 析の方法論と カカ 的知識に其べど診断・治療がままる。					団における慢性腎臓病の発症進展に関わる要因解 方法論と最新の知見を学ぶことで、リアルワール			高血圧症(本態性、二次性)の診断・治療、臓器合併 症、多臓器連関、特に心腎連関の視点からの病態の機 序やその解析法を学ぶことで、個別患者の病態を解釈 できる。				腎臓学、腎臓病学全般に関連する最新の重要論文を渉 猟し、批判的吟味を加えながらreviewすることで、科 学的な思考、効果的なプレゼンテーションそして論理 的なディベートができる。			
S 目 到	分野の達	成目標			分野の達	成目標			分野の達成目標				分野の達成目標			
B標達	(7) (8	3)			(9) (1	0)			(7) (8)				(8) (9) (10)			
特記事項	【2021年月 「受講票・	寸する事前事後学修は4 度以降の入学者】全講 履修報告書」の記載か 度までの入学者】講義の	養後終了後は ド不十分な場	速やかに 合は、担当	「受講票・履 (教員がコメ	修報告書」をWeb Cla			-	0			•			
評価 方法																
講義日程	時間割参	· III			時間割参	照			時間割参	照			時間割参	照		
教科書 参考書																

> 7 1																	
コード		MD141411	10			MD141490	10			MD14149	9020			MD14	149030		
科目	腎臓	・高血圧内科	学セミナ	<b>-</b> -5	特別研究 I				特別研究Ⅱ			特別研究皿					
科目責任者		旭浩一			各(正)指導教員					各(正)指導	<b>尊教員</b>			各(正)	指導教員		
担当者		旭浩一			各指導教員				各指導教	(員		各指導教員					
場所		腎・高血圧内科	教授室			各指導教員と相談	の上決定			各指導教員と相	談の上決定			各指導教員と	相談の上決定		
区分等	区分	講義	単位	1	区分	演習	単位	1	区分	演習	単位	1	区分回数	演習	単位	2	
主な 授業内容	回数     通年8コマ     配当年次     1~4     回数     通年8コマ     配当年次     2       社会における腎専門医     ・生命科学や研究手法の基礎的な知識・研究計画調書の作成 ・初期審査の準備						回数 通年8コマ 配当年次 3 - 生命科学や研究手法の専門的な知識 - 中間審査の準備						配当年次 の発展的な知識 試験の準備	<b>4</b> 裁			
教育成果	教 ウ ウ ト ト カ 鬼 カ と				究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えることができる。 <初期審査>2年次末までに実施。研究指導教員同席のもと非公開で実施する。研究指画調書等に基づき、研究の概要について口答で説明し、その妥当性について審査を受け、今後の研究の進め方について指導を受ける。					究内容の討議を行い、質問に対し、適切に答えること ができる。 <中間審査>3年次末までに実施。研究指導教員同席 のもと非公開で実施する。研究計画調書に基づき、研				生命科学や研究手法の発展的な知識を身につける。最終試験に向けて、情報を適切に分析し、論旨を展開できる。 <論文作成>学位申請までに実施。論文作成に向けたデータ収集や解釈、図譜の作成や記載ができ、論文を作成できる。			
S 目 到	分野の達	成目標			分野の達	成目標			分野の達	成目標			分野の遺	成目標			
B 標達	(12)				(3) (4) (5) (6)			(3) (4) (5) (6)				(3) (4) (5) (6)					
特記事項	各講義に対する事前事後学修は4時間程度を要し、内容は担当教員に確認すること。  【2021年度以降の入学者】全講義後終了後は速やかに 「受講票・履修報告書」をWeb Classにアップロードす					し、内容	は担当教員に確認 の詳細は、「初期	思すること。		し、内容	ドは担当教員に	後学修は4時間 確認すること。 最終試験の手引					
評価方法	より総合的 点、B:79~ 価とし、A 再提出)。 【2020年度	20年度までの入学者】出席、レポートなどにより 的に評価する。							A:100~80点、B:	79~70点、	C:69~6	0点、D:5	9~0点)の4彩	階評価とし、/	ABC		
講義日程	時間割参	照															
教科書 参考書																	

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						腎臓・高血圧内科学セミナー1/共通教育科目
2 限	10:30~12:00			腎臓・高血圧内科学演習4		腎臓・高血圧内科学演習5	腎臓・高血圧内科学セミナー2/共通教育科目
3 限	13:00~14:30		腎臓・高血圧内科学演習1				
4 限	14:40~16:10		腎臓・高血圧内科学演習3		腎臓・高血圧内科学演習2	腎臓・高血圧内科学演習6	
5 限	18:00~19:30	腎臓・高血圧内科学セミナー4				腎臓・高血圧内科学演習1	
6 限	19:40~21:10	特別研究I~III	腎臓・高血圧内科学セミナー3	腎臓・高血圧内科学セミナー5			
【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						腎臓・高血圧内科学セミナー1/共通教育科目
2 限	10:30~12:00			腎臓・高血圧内科学演習4		腎臓・高血圧内科学演習5	腎臓・高血圧内科学セミナー2/共通教育科目
3 限	13:00~14:30		腎臓・高血圧内科学演習1				
4 限	14:40~16:10		腎臓・高血圧内科学演習3		腎臓・高血圧内科学演習2	腎臓・高血圧内科学演習6	
5 限	18:00~19:30	腎臓・高血圧内科学セミナー4				腎臓・高血圧内科学演習1	
6 限	19:40~21:10	特別研究I~III	腎臓・高血圧内科学セミナー3	腎臓・高血圧内科学セミナー5			

## <履修スケジュール> ※各自記録してください。

【前期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						

【後期】	講義時間	月	火	水	木	金	土
1 限	8:50~10:20						
2 限	10:30~12:00						
3 限	13:00~14:30						
4 限	14:40~16:10						
5 限	18:00~19:30						
6 限	19:40~21:10						